

令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 折尾西 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

1. 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

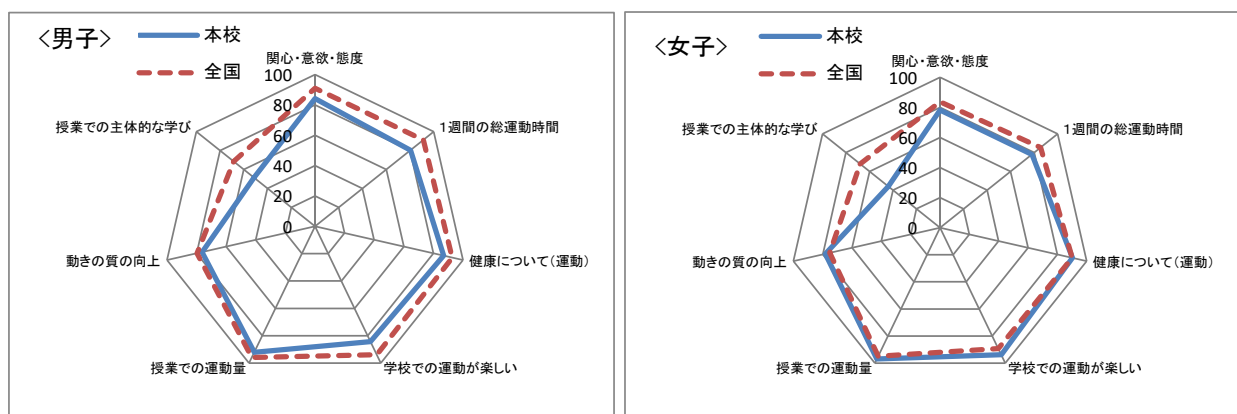
2. 本市における調査内容

(1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

今回の調査結果により、コロナ禍の影響もあり、全国平均と比べて本校児童の運動に対する関心意欲や主体性が低下しており、運動習慣も確立していないということが読み取れる。調査後に行った運動会では、自らダンスの練習をしている児童の姿がたくさん見られたり、現在高学年が行っている持久走では、目標を友達と語り合っている姿もたくさん見かけられたりした。共通の目標を立てることや、日常から体力づくりの話題を行う必要がある。

4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

児童が主体的に考え、動く体育科授業となっていくように、単元設定や毎授業のめあての確認、授業後の振り返りをさらに充実していきたい。そのためにICTを活用して、自分の動きを確認したり、友達のよい動きを真似したりする活動を取り入れていきたい。その中で、児童それぞれに合った目標を見つけられるよう

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

本年度、運動委員会の取り組みとして体力アップの全校の取り組みを予定していたが、残念ながらコロナ禍の影響で実施することができなかった。そのため、次年度はどんな状況で合っても、取り組みやすい且つ効果的な活動を児童と共に作っていきたい。現在、3学期、全学年取り組んでいる縄跳びでできる全校